

防災農地について

大阪府立貝塚高等学校(福原慶太、田中蒼真、上代雄生、壽崎彩斗)

1 目的

南海トラフ地震の警戒度が高くなっている今、学校近くでよく見る「防災農地」の看板が気になった。「防災農地」とは何なのか調べることにした。

2 取組方法

4月24日～5月8日 学校周辺の防災農地の調査

6月18日 防災農地の認知度について調査(1回目)

7月31日 防災農地の認知度について調査(2回目)

貝塚市都市整備部農林課訪問

* 防災農地の調査

学校周辺の防災農地の看板を探して地図に赤色でマークをした。

* 防災農地の認知度調査

貝塚市役所内で防災農地について知っているか質問した。(回答数51)

* 農林課訪問

鈴木氏より防災農地の成り立ちや課題などの聞き取りを行った。

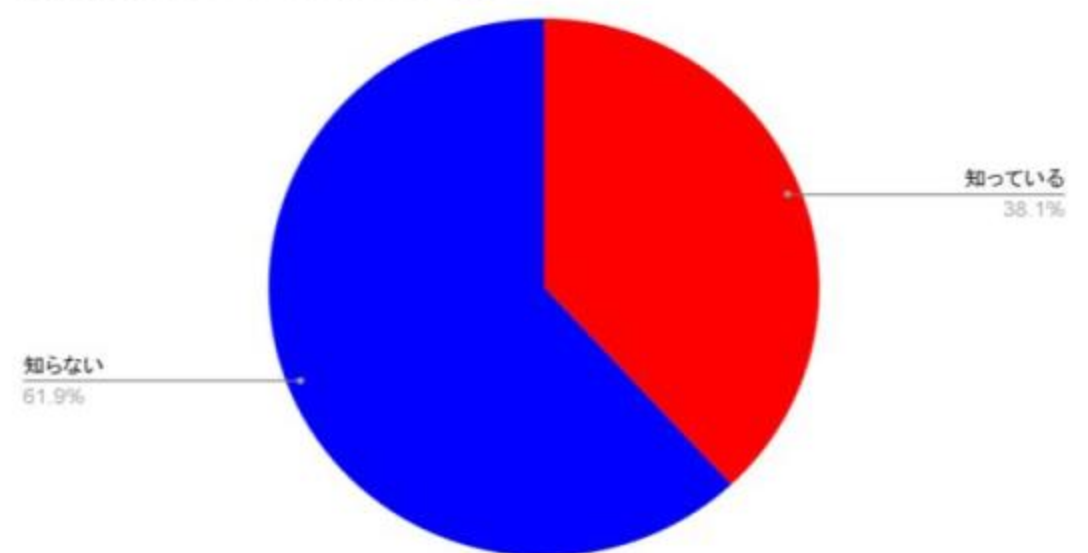


3 結果

防災農地とは、震度6以上の震災時にのみ使用できる畑であり、市街地に多いことがわかった。

アンケート調査では、防災農地を知っていると答えた人は約4割にとどまった。

防災農地について知っているか



4 考察・まとめ

防災農地を知っていると答えた人は畑に立っている看板を通じて知っていることが分かった。しかしその役割については、まだよく知られていないことも分かった。私たち自身今回の調査を行うまでは知らなかったことばかりであった。都市の中の農地の新しい役割として、今後も機会を見つけて広く知らせていきたいと思う。

